

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 2023年 3月 31日

事業所名 えがお港  
区店

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		室内だけでなく、屋外で活動するなど工夫しています。	安全な空間を確保しながら今後も活動してまいります。
	2 職員の配置数は適切である	○		配置基準以上の人員を確保しています。	引き続き、子ども達が安全に活動できる人員の確保に努めます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに記載しています。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在検討中です。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月研修を行っています。	引き続き研修を重ね、専門性の向上に努めます。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者様との面談や電話での聞き取り後、カンファレンスを行っています。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		より細かなアセスメントツールを検討中です。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的に会議を行っています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しないように振り返りを行い、職員同士で意見を出し合っています。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で情報共有やスケジュールの確認を行っています。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		支援終了後に必ず行っている訳ではありません。翌日の朝礼で情報共有を行っています。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡帳や日報だけでなく、毎日一人ひとり日誌の記入を行っています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	現在該当者はいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	現在該当者はいません。	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公園などで障害のない子ども達と接する機会があります。	放課後児童クラブや児童館との交流は、感染防止拡大の観点から実施していませんでした。今後感染状況を踏まえた上で交流の機会を設けたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎の際にお時間をいただいております。またお時間の都合が合わない時は改めてお電話にてお話をさせていただきます。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		今後実施予定です。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		主に送迎時やお電話でお話しさせていただきます。	今後、定期的に面談する機会を設けさせていただきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		感染防止拡大の観点から実施していませんでした。今後、感染状況を踏まえたうえで実施検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のお手紙とは別に、定期的にお子様様を「新聞」という形で作成し、保護者様にお渡しさせていただきます。	
	35	個人情報に十分注意している	○		名前が書いてあるものや誰かすぐに判断できるものは必ずシュレッダーしています。	今後も細心の注意を払います。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	内覧会以外で行事に招待したことはありませんが、毎年ハロウィンで地域住民の方々に協力していただいています。	
----	------------------------------------	---	--	--

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		定期的に行っています。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年必ず行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		やむを得ず身体拘束を行う場合は、事前に職員間で代替案が無いかなど話し合っています。その上でやむを得ず行う場合は、事前に保護者様に説明し同意を得た上で、支援計画に記載しています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	現在、医師の指示書はありません。	今後、指示書が出た場合は職員間の共有と確認を徹底していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎月、職員全員が記入提出し、共有しています。	